

検査データ管理システム

f'no 導入事例

Vol. 1

医療法人社団 宏久会 泉岡医院

f'no エフノ

Fukuda Multimodality
Lifetime Care support system



f'no紹介動画を
こちらのQRコードから
ご覧頂けます。

FUKUDA
DENSHI

f'no^{エフノ}

可能です。

説明することはなかった。心エコーだけはUSBで画像をとって見せていたが、「f'no」を使用して表示するようになり、圧倒的にキレイになった。骨密度計、肺機能検査の結果も、以前の感熱紙だと患者さんに診せてもピンとこなかったが、画面での説明がしやすくなった。それに、印刷もキレイになったので、検査結果をA4の紙に印刷して患者さんに持って帰っていただくようになったのも良かった。

地域のかかりつけ医としてのアピールとしても患者サービスの向上につながり大変良かった。



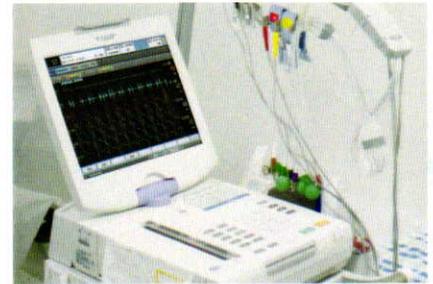
クラウド機能についての今後の展望は？

外部との連携を期待している。例えば、検査会社さんと連携しデータ共有することを期待したい。診断学としてのAIを電子カルテか、検査システムか、どこがするのかにもよるが、将来的にAIが導入されてくる事を想定すると、採血結果を踏まえないという事はあり得ないと思う。AIの診断能力でも、採血結果がない場合とある場合では、相当結果が異なってくるはずだろう。その他、レントゲン器械との連携など、さまざまな器械とも連携構築が必要になっていくだろう。

今後f'noに望むことは？

以前から高血圧症患者におけるスマートフォンアプリを利用した血圧管理

についての研究として、「Welbyマイカルテ[®]」利用高血圧症患者を対象に、家庭内で日々測定された血圧値も利用されていた泉岡医院。新システム「f'no」の今後のリリース展開として、アークレイ社の血糖自己測定データのクラウドサービスとの連携も予定されている事など、外部とクラウドサービスの連携にも注目されている。特に「Welbyマイカルテ」のような日常のヘルスケアデータを管理するサービスとの連携に強い関心を示された。



当院に設置されているフクダ電子製血圧脈波検査装置

※「Welbyマイカルテ」は糖尿病や生活習慣病の患者さんの自己管理をサポートするクラウドサービスです。



クラウドサービス

検査データ管理サービス

メンテナンスサポートサービス

検査データ管理システム f'no(エフノ)は、クラウドサービスを利用した3つのサービス提供を実現。また、検査データ管理サービスでは「3つのアプリケーション」を搭載し、より簡便かつ効率の高い操作が可能となりました。

Column

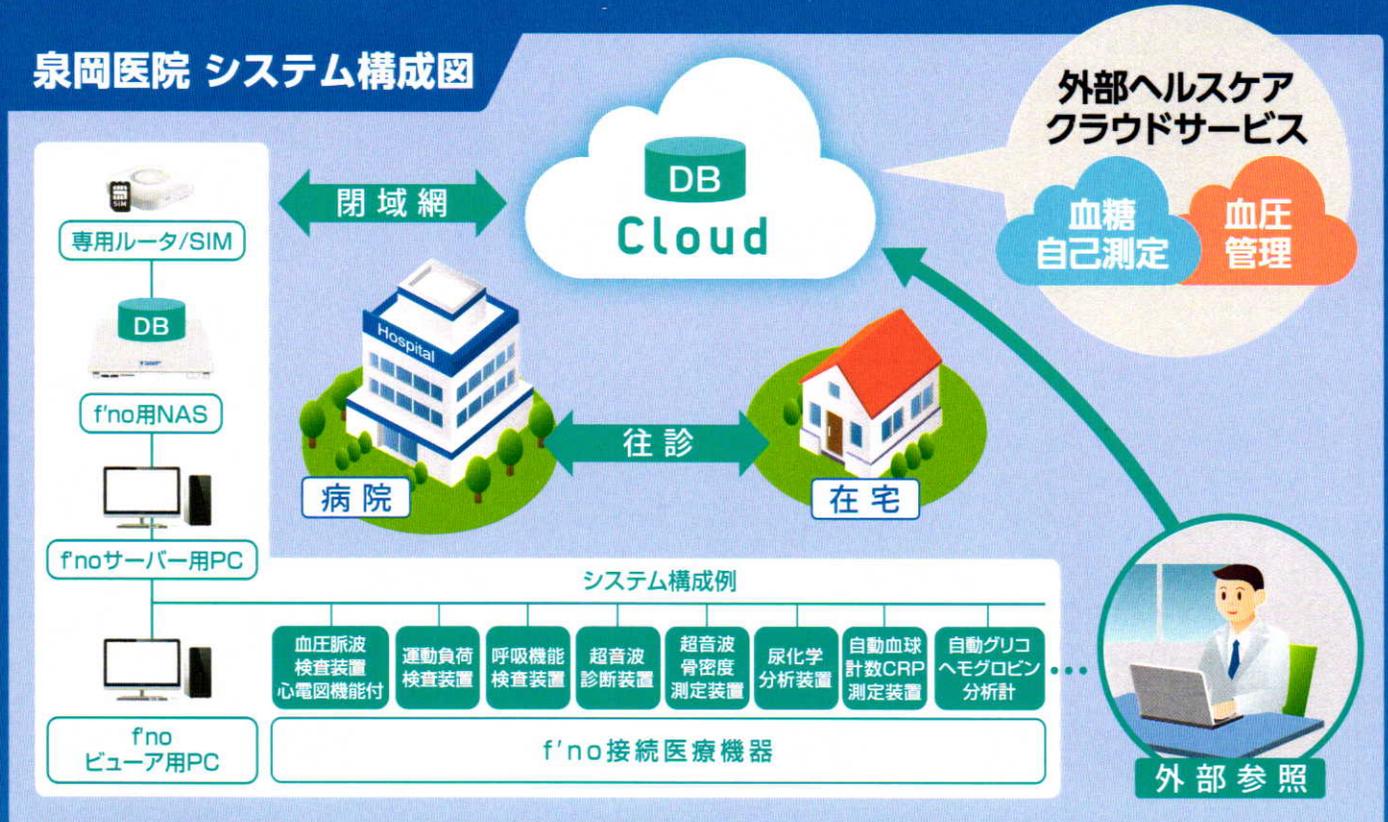


生活習慣病診療に特化した「f'no」のメリットを語る

生活習慣病予防・管理に力を入れられてきた泉岡医院。週1回の栄養士による栄養指導を行い、週1回糖尿病専門医による外来診療も行っており、新たに「早期糖尿病性腎症のマーカー」と「ヘモグロビンA1c」、「自動グリコヘモグロビン分析計」を導入、「f'no」へ接続し結果データ管理を行っている。こういった幅広い機器の接続も行え、またヘルスケア情報にもアクセスできるメリットは計り知れないと感じている。

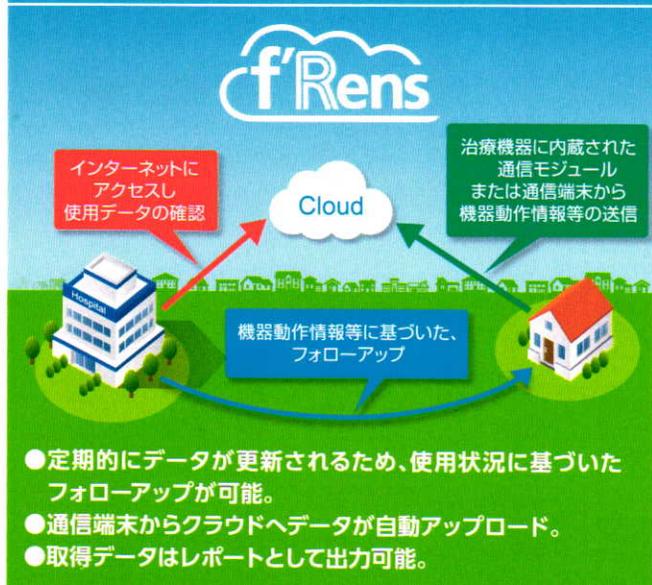
泉岡 利於 先生 医療法人社団 宏久会 泉岡医院 院長

泉岡医院 システム構成図



フクダグループのシステムソリューションご紹介

在宅医療診療支援システム f'Rens (フレンズ)



災害時業務支援システム フクダレスキューウェブ

FUKUDA
RESCUE Web
フクダレスキューウェブ

フクダレスキューウェブは在宅療養者に“安全”と“安心”をお届けする災害時業務支援システムです。

事前の対策

強固な通信網

万全のサポート

フクダ電子株式会社

〒113-8483 東京都文京区本郷3-39-4 TEL.(03) 3815-2121 (代)

フクダ電子ホームページ / <https://www.fukuda.co.jp/>

お客様窓口… ☎ (03) 5802-6600

受付時間:月～金曜日(祝祭日,休日を除く) 9:00～18:00